

No.	14-3-10	場所	松川町生田	次世代への継承キーワード	
名称	河原と化した峠の水田			地域コミュニティ	
災害現象	洪水氾濫			河川	福沢川
補足事項				支流	

松川町生田地区の斜面は、風化すると砂状になりやすい花崗岩からできている。降り続く雨により、いたるところで斜面が崩れ落ち、屋根筋の集落を残して被害は全域に広がった。間沢川、寺沢川、福沢川に流れ込んだ土砂は谷沿いの水田を呑み込み、大きな土石流となって、下流の福与地域をはじめ、天竜川沿いの集落に大きな打撃を与えた。

●体験談：△△

私の家は生田の峠にありましたが、その時、部屋に私と90歳になる祖母と2歳半の娘と妻の4人で休んでお茶を頂いていました。私の前の水田が心配になり、縁側まで立ち上がった時、私の体が宙に浮いたような気がしました。家の裏の急な斜面の畑の土手が崩れ落ち、家の中心部に落ちて来て、土台とその下にあるコンクリートを砕き、縁の下に入り床を持ち上げ、一家全員が7メートル位飛ばされ、土砂の中へ埋め込まれました。私は風圧で下の道まで飛ばされました。

一瞬の出来事で何が起きたかわからず、無我夢中で家までよじ登り皆を捜しました。その時、土の中から妻の手が出ているのを見つけ、顔の泥を手で払い落とし、一人では手がつかないので、分家の有線で救出のお願いをしました。そこに救出に駆けつけていただいた近所の人々や通行人の人のご協力をいただき、まず妻は救出されました。続いて祖母と娘も泥の中からこたつの布団に包まれるようにして見つかかり、分家の家まで運んでいただき皆で人工呼吸をしていただきましたが、2人は助かりませんでした。

（「三六災害の思い出—松川町史学会」より）

記 録



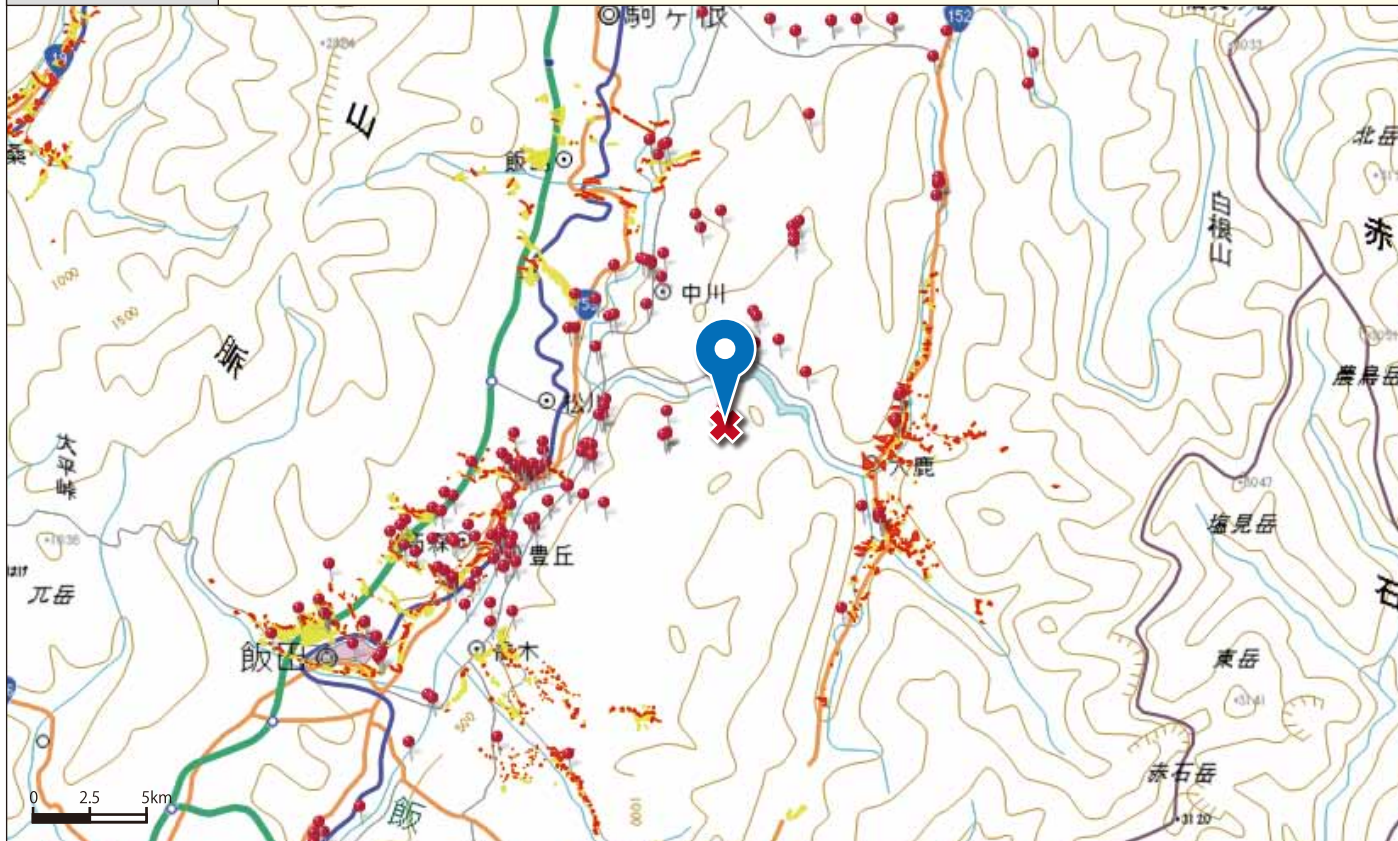
洪水により河原と化した峠の田んぼ

出典	「松川町史 第1巻」p.318/「三六災害の思い出—松川町史学会」p.9				
備考					

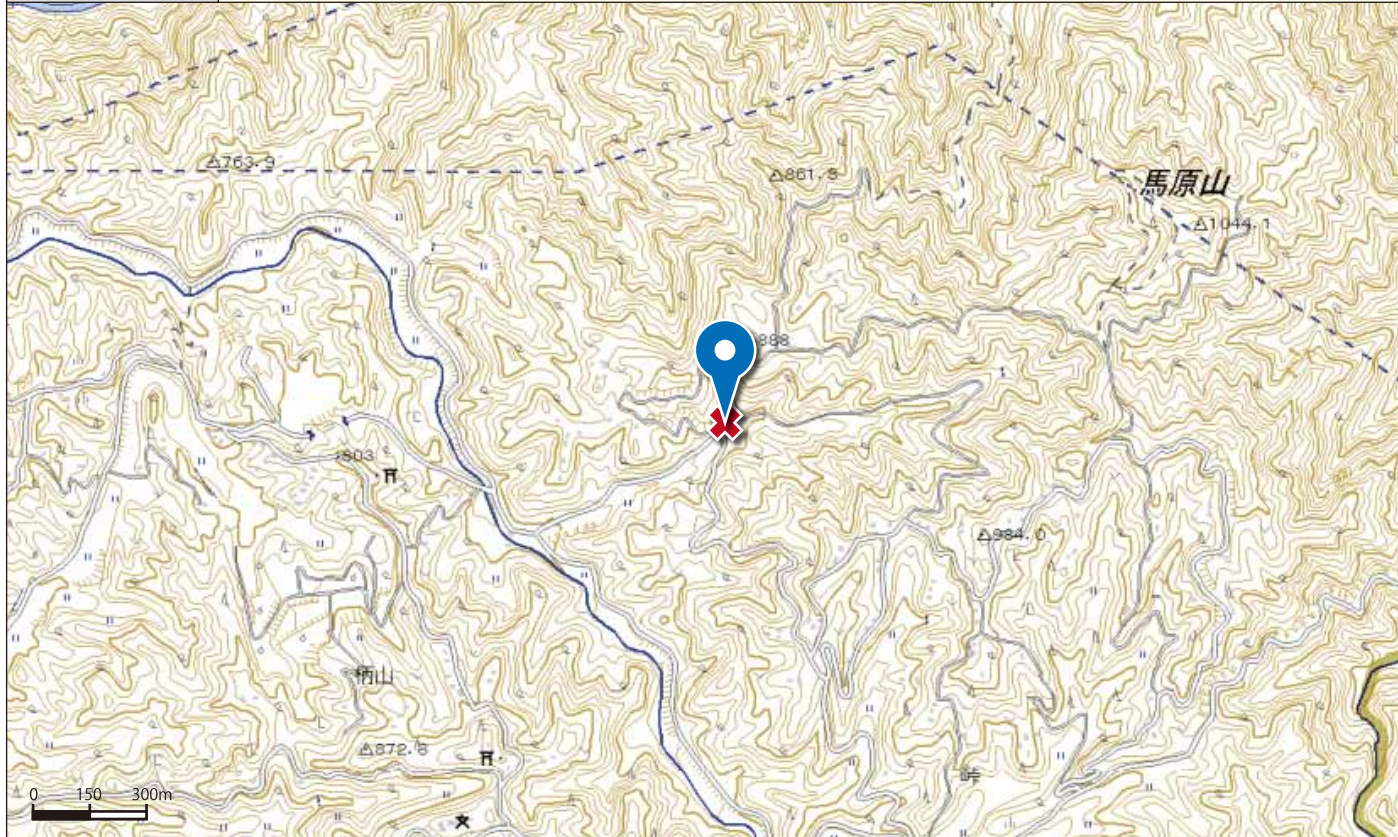
No.	14-3-10	場所	松川町生田	緯度	35.593041
-----	---------	----	-------	----	-----------

名称	河原と化した峠の水田	経度	137.977193
----	------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。